



## 再構築案に疑問を呈する欧州労使協議会（EWC）

2014年10月7日、JTIは北アイルランドのリスナフィラン製造工場、ベルギーのグリソン製造工場ならびにドイツのトリア工場のOTP製造ラインの閉鎖につながる提案を発表した。この提案は1,100人の労働者に影響を及ぼす。

欧州労使協議会（EWC）はこの提案に満場一致で断固反対する。現在入手された情報によると、会社の事業や地元の運営環境の経済状況、そして社会的責任を持つ使用者としての評判に対する影響について十分考慮されないまま、株主の利益を最大化させることが主な目的となっている。EWCはこの提案の理由づけを理解できない。

11月12、13日にロンドンでEWCは会合を開き、次の点を確認した：

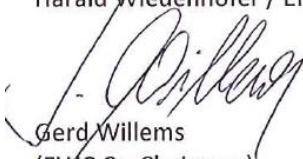
- リスナフィラン、ウェルヴィック、トリアだけでなく、EWCレベルでの包括的協議プロセスの確保が必要。
- リスナフィラン、ウェルヴィック、トリアのEWC代表が、全ての協議会議に出席する権利を持たなければならない。影響を受ける全労働者を支援するために、運営委員会メンバーが地元の協議でサポートすることをEWCは提案する。EWCは協議会議に専門家を呼ぶ権利を有する。
- EWCの目標は、これら3カ所の工場での生産の継続を確保する事である。そうする事で雇用を維持させる。1,100人以上の労働者とその家族が、彼らの将来がどうなるかを明確に理解できる必要がある。この目標を達成するために何をすべきか？EWCは経営からこの質問の回答を期待する。
- もし雇用喪失が不可避な場合、EWCは会社に解雇条件、訓練、再雇用あっせんサービス、支援並びにその他のサービスを明確にした、確固たる社会計画を策定し実施させるよう、全面的に請け負う。

EWCは提案に関するすべての進展を労働者に通知していくことを約束する。

Donald Wilson/ UK  
Frances Anderson/ Italy  
Stephen Graham/ Lisnafillan  
Silviu Iordache/ Romania  
Andreas Schalek/ Austria  
Peter Toepel/ ATG Germany  
Harald Wiedenhofer / EFFAT

Patrice Chaussat/ France  
Pedro Pineda/ Spain  
Alistair Lowry/ Lisnafillan  
Dimitris Kranias/ Greece  
Roland Braun/ Austria  
Erica van Nigtevecht/ NL  
Michael Bergstreser/ NGG

Frank Gildea/ Ireland  
Miguel Solina/ Canary Islands  
Traian Marin Ene/Romania  
Klaus Schiffgen/ Germany  
Thomas Mueller/ATG Germany  
Dennis Berteloot/ Gryson

  
Gerd Willems  
(EWC Co-Chairman)

London, 13 November 2014